

ソニックデザイン 企業報道資料 2011年11月28日

ソニックデザイン、メルセデス・ベンツ「Eクラス」専用の オプションサウンドシステムをメルセデス・ベンツ日本（株）より受注

株式会社ソニックデザイン（千葉県千葉市中央区南町 2-6-18、社長：佐藤敬守）はこのたび、メルセデス・ベンツのプレミアムアップパーモデル「Eクラス（セダン / ステーションワゴン）」専用のオプションサウンドシステムをメルセデス・ベンツ日本株式会社（東京都港区六本木 1-9-9、社長：ニコラス・スピークス）より受注しました。なお、本システムは「Eクラス（セダン / ステーションワゴン）」のメーカー装着オプションとして、メルセデス・ベンツ日本（株）から、「E-Class Sound Suite」（Eクラス サウンドスイート）の名称で全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて販売されます。



「E-Class Sound Suite」に搭載される専用設計コンポーネント群：フルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」（写真手前左右）、アディショナルウーファーモジュール「The Suite Extend-Woofer」（写真奥左右）、純正システムのソースユニットとしての資質を引き出す SonoRevive 技術搭載の特別仕様デジタルプロセッサーアンプ（写真中央手前）

*写真はプロトタイプです。実際に納入する機器類は外装仕上げなどの詳細が写真と異なる場合があります。プロセッサーアンプの写真は構造説明のため内部写真を外装写真に合成しており、実際には内部は見えません。

「E-Class Sound Suite」 概要

メルセデス・ベンツと、ソニックデザインの完全受注製作方式コンプリート・カーオーディオ開発プロジェクト「The Suite」とのコラボレーションによって生み出された自動車メーカー純正カーオーディオの最高峰、それが「Sound Suite」シリーズです。今回発表するEクラス（セダン / ステーションワゴン）専用オプションサウンドシステム「E-Class Sound Suite」は、2009年発表の「CL 550 Sound Suite」、2010年発表の「CLS Sound Suite」、2011年春発表の「CL Sound Suite(第二世代)」に続く「Sound Suite」シリーズの4作目で、新型Eクラスのセダン / ステーションワゴン各車に注文可能なオプション装備（ただしE350ブルーエフィエンスー ステーションワゴン アバンギャルドのフロア格納式サードシート装着車には注文できません）として販売される予定です。弊社ではメルセデス・ベンツ日本（株）の協力のもと、Eクラスの車体形状や車室内音響特性に最適化した専用コンポーネント群の設計開発と専任の技術者の手による車両への架装、1台ごとの綿密なサウンドチューニングなど音質にかかわる全工程を担当。音楽をより身近に感じられるリアリティと聴き心地の良さを実現し、Eクラスに乗る喜びをさらに引き立てる、真に高品位で格調高いカーオーディオサウンドを完成させました。

- 「E-Class Sound Suite」は、Eクラス専用のオプションサウンドシステムとして、メルセデス・ベンツ日本（株）から全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて販売される商品です。弊社での直接販売は行なっておりません。本商品のご購入に関するお問い合わせやご用命は、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークで承ります。
- 「E-Class Sound Suite」に搭載されるオーディオシステムおよびコンポーネント、パーツ類はすべて本システム専用開発されたものです。単独での販売は行なっておりません。
- 「E-Class Sound Suite」はセダン、ステーションワゴンそれぞれの車室内形状に最適化した専用のサウンドチューニングを実施したうえで納車されます。



Eクラス専用オプションサウンドシステム「E-Class Sound Suite」を装備したメルセデス・ベンツEクラスセダンのインテリア例（内装などの仕様はベース車両により異なります。この写真は商品説明のために一部合成されたもので、実際のスピーカーは外部からは見えません）

「E-Class Sound Suite」 オーディオシステムの設計コンセプト

1：高純度な音質と聴き心地の良さを兼ね備えたシンプルな構成

Eクラス専用開発した52mmデュアルドライブのアルミダイキャスト製エンクロージャー一体型フロントドア用フルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」（ザ スウィート ユニゾンアレー）と、これを補完するリアドア用アディショナルウーファーモジュール「The Suite Extend-Woofer」（ザ スウィート エクステンドウーファー）による、シンプルで本質的な「フルレンジ+補助的ウーファー」の4モジュール・6スピーカー構成を採用。音楽の主要帯域を左右1組で再生するスーパーフルレンジ思想のフロントスピーカーと、前席乗員の後方至近距離にある左右一組の補助的ウーファーとを理想的なバランスで組み合わせ、クロスポイントを低音域の1点に集約することで、至高の音質純度と聴き心地の良さをあわせて追求しました。

2：純正オーディオシステムとまったく変わらない優れた操作性

純正オーディオシステムのアナログ音声出力を高精度に取り出すソニックデザインの独自技術、「SonoRevive」（ソノリバイブ）を採用し、Eクラスに標準装備された多彩なオーディオ/ビジュアルソースのすべてを高音質に再生*。もちろん、COMANDコントローラーによるオーディオ/ビジュアル機能の優れた操作性も損ないません。

3：メルセデス・ベンツ純正としての厳しい基準をクリア

ソニックデザインのノウハウを結集した高度なインストール技術により、車室内およびトランクルーム内にいっさいの突起物を設けることなく最大限の性能を確保するとともに、車両の修理や整備の際は必要に応じてコンポーネント類の脱着が容易に行なえる構造としました。さらに、システム全体の軽量化と省電力化も積極的に推し進めることで、一般的なハイエンド・カーオーディオシステムでは不可避だった車両側への悪影響が生じないよう細心の注意を払って設計しています。なお、本システムの車両への架装作業はソニックデザイン本社にて弊社の専任技術者が一貫して行ない、その後改めて車両をメルセデス・ベンツ日本（株）の新車整備センターに戻し、メルセデス・ベンツ純正としての厳しい基準をクリアしたうえで登録・納車されます。

*「SonoRevive」は、純正オーディオシステムから音声信号を取り出す際の音質劣化やノイズなどを抑制する機能であり、対象となる音声信号の品位自体を改善するものではありません。したがって、オーディオ/ビジュアルソースの最終的な再生音質は各ソース本来の品位に依存します。たとえば、純正のミュージックレジスター（HDDオーディオ）やメモリーカードスロットなどを使用したMP3ファイル再生時、ポータブルオーディオプレーヤーによる圧縮音源の再生時などにおいては、一般論として、純正CDプレーヤーにおける音楽CD再生時と比較して音質が低下することになります。

「E-Class Sound Suite」 オーディオシステム各部の特徴

1：独自の SonoRevive 技術による純正オーディオソース専用システム

純正オーディオシステムのアナログ音声出力を、音質劣化を最小限に抑えながら高精度に取り出す独自技術「SonoRevive」により、Eクラス本来のオーディオ/ビジュアル機能を純正装着のCOMANDコントローラーなどで快適に操作できます。純正ソースの高音質再生に特化し、ハイエンド・カーオーディオの最先端をどなたにもストレスなく使いこなしていただくことを目指した新概念のシステムです。

2：フルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」

左右のフロントスピーカーには、音楽の主要帯域を左右1組のドアユニットで再生するフルレンジドライバー・モジュール「The Suite Unison-Array」を採用しました。このスピーカーモジュールは、Eクラスのフロントドア内形状に合わせて専用設計したモノブロック構造のアルミダイキャスト製エンクロージャに2本の52mm口径スピーカーユニットを組み込んだもので、ユニットには「プレミアムライン」でも定評のある上級ワイドレンジドライバー「SD-N52R」型（選別品）を投入しています。

このモジュールを一般的な13～17cm口径マルチウェイスピーカーと比較すると、(1) トゥイーター用クロスオーバーネットワークを使用せず音楽の主要帯域をシームレスに再生、(2) 小型高性能スピーカーユニットを平行駆動することで俊敏なレスポンスとハイパワーを両立、(3) インライン配列された2本のユニットとリスナーとの位置関係の最適化で音の指向性と広がりを制御、(4) 継ぎ目のない完全一体鋳造エンクロージャにより高剛性・低共振化と余裕ある内容積を獲得、というように数多くの優れた特性を備えています。これによりトゥイーターやセンタースピーカー*など、アディショナルウーファー（後述）を除く付加的スピーカーを排除し、ソニックデザインならではの、穏やかさと鮮度とを併せ持つナチュラルな聴き心地を実現しました。

* 本システムには携帯電話ハンズフリー通話専用のセンタースピーカーを装備していますが、このスピーカーはオーディオ/ビジュアルソース再生と切り離されたハンズフリー通話専用としているためオーディオシステムの再生音質への影響はなく、ハンズフリー通話も純正と同じく使用できます。

3：アディショナルウーファーモジュール「The Suite Extend-Woofer」

左右のリアドアには、Eクラスのリアドア内容積を最大限に利用したアディショナル(付加的)ウーファーモジュール、「The Suite Extend-Woofer」を装備しました。この「The Suite Extend-Woofer」は約150Hz以下のサブウーファー帯域を受け持つ低音専用モジュールで、これを前席乗員から至近距離にあるリアドアの純正スピーカーに代えて設置し、デジタルプロセッサにより統合制御することで、従来型サブウーファーでは難しいとされるフロントスピーカーとの高度な音の一体感を追求しています。またスピーカーユニットには上級グレードのマイクロウーファーユニット「SD-N77R」型を投入し、小口径ならではの低音の切れ味とローエンドの伸びを両立。エンクロージャはチューニングポート内蔵のモノブロック構造アルミダイキャスト製とし、音を濁らせる不要共振を徹底的に排除しながら内容積を最大限確保しました。

4：小型・軽量・低消費電力の特別仕様デジタルプロセッサアンプ

システムの中核となるプロセッサアンプ部は、ハイエンドと呼ぶにふさわしい圧倒的な高音質だけでなく、これからのカーオーディオに求められる小型(297×210×58mm)軽量(4kg)、そして車両への負担を最小限に抑える低消費電力も同時に実現。音質・音場補正から最終増幅までを音質劣化のないデジタル領域で遂行するデジタルダイレクトアンプ方式の採用により、各スピーカーを厳密にコントロールします。プロセッサアンプの音質・音場セッティングは弊社の専任技術者の手によって車両1台ごとに行い、ボディタイプ(セダンまたはステーションワゴン)の違いはもちろん、内装材(レザーまたはファブリック)によって異なる吸音特性など細かな仕様の違いも反映されます。なおプロセッサアンプ本体は、セダンの場合はリアシート後方のパーセルシェルフ内部に、ステーションワゴンの場合はトランクフロアボード下部に専用の取付ブラケットを介して固定され、居住スペースやトランク容量、美観などに影響を与えることなく、また優れたメンテナンス性も確保しています。

5：車外への音漏れを追放する*フルエンクロージャ方式

全スピーカーユニットをアルミダイキャスト製の専用エンクロージャに収容したフルエンクロージャ方式により、信号待ちや静かな住宅街などで気になる車外への音漏れを追放。周囲への迷惑を気にすることなく、至高のサウンドを満喫できます。

6：最上のもてなしを提案するカーオートメーション機能**

運転席、助手席の乗車人員に応じた音場と音質の自動調整、リバース（後退）ギヤ選択やドア/サイドウィンドウ開閉と連動して音量が滑らかに下降～上昇するアクティブミュージック（フェードイン/フェードアウト）など、人の感性と響きあう最上のもてなしを提案。ハイエンドシステムにふさわしいリスニング体験を約束します。

*音漏れを完全に防ぐ構造ではありません。また安全のため、運転中は適切な音量でお楽しみください。

**お客様のご要望に応じて機能をカスタマイズ、またはキャンセルすることも可能です。

本件についてのお問い合わせ先

株式会社ソニックデザイン：

電話 043-209-1777、eメール info@sonic-design.co.jp

以上